



金属加工科

(企業実習付7ヶ月コース)

H30.10 改

【訓練の内容は?】

- ①金属製品製造 … 各種溶接機や工作機械を使って、金属加工の方法を学びます。
- ②企業実習 … 各種溶接及び板金を行う企業の現場で行われている仕事の実習を行います。

訓練の主な内容と教科目		資格取得目標
	<p>訓練導入講習 (1ヶ月)</p> <p>将来の働き方(キャリア・ビジョン、キャリア・デザイン)について考え、実践的な職業訓練受講に必要な基礎的能力等を習得します。</p> <p>1. ビジスマナー、コミュニケーションの基本、職務経歴書の作成方法、企業に関する情報収集 等</p>	
	<p>機械板金・プレス加工・レーザー加工作業 (1ヶ月)</p> <p>機械板金加工、プレス作業に必要な作業・知識を習得します。</p> <p>1. プレス機械作業、材料加工、動力プレス金型の調整等の特別教育</p> <p>2. 機械板金作業、曲げ加工、レーザー加工、板金図面、課題作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動力プレスの金型等の取付、取外し、調整特別教育
	<p>TIG薄板溶接・炭酸ガスアーク溶接作業(1.5ヶ月)</p> <p>タングステン電極及び不活性ガスを利用した電気溶接を利用し、鉄、ステンレス鋼やアルミニウム合金の溶接方法と関連知識を習得します。また、炭酸ガスを利用した半自動溶接に関する作業方法と関連知識も併せて習得します。</p> <p>【TIG溶接による作業法】</p> <p>1. 下向き溶接、水平すみ肉溶接、ステンレス・アルミニウム合金の溶接</p> <p>2. 各溶接の曲げ試験方法</p> <p>【炭酸ガスアーク溶接による作業法】</p> <p>1. 3mm~9mm板厚鋼板の下向き溶接、水平すみ肉溶接</p> <p>2. 各溶接の曲げ試験方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アーク溶接特別教育 【任意受験】 ・JIS溶接技能者評価試験
	<p>金属材料加工基本作業 (1ヶ月)</p> <p>金属加工についての概要と仕上げ作業や加工に必要な機器・器具の使い方および切断方法を習得します。</p> <p>【製図・工作法・せん断方法や特別教育】</p> <p>1. 機械工作、せん断の実施、自由研削砥石</p> <p>2. ガス溶接・溶断、プラズマ切断</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス溶接技能講習 ・自由研削砥石特別教育
	<p>非破壊検査及びクレーン運転作業 (0.5ヶ月)</p> <p>金属加工製品の仕上がり検査等に用いられる非破壊検査に関する知識及び作業方法を習得します。また、材料運搬で用いられるクレーンの基本的な運転方法を習得します。</p> <p>【非破壊検査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超音波探傷試験、浸透探傷試験、磁粉探傷試験 <p>【クレーンの運転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン運転の特別教育(5t未満) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン運転特別教育 【任意受験】 ・非破壊試験技術者資格試験
<p>企業実習 (1ヶ月)</p>	<p>鋼構造物製作、材料加工等、金属加工業務の現場実習を体験し、実務において必要な技能・技術、関連知識および安全手法を習得します。</p>	
<p>フォローアップ訓練 (1ヶ月)</p>	<p>企業実習における課題や疑問点を解決し、実務における問題解決の手法を習得します。</p>	

【修了すると、何が得られるの？】

- ① 金属製品製造においては・・・
 - ・金属製品製造に用いられる、各種溶接機と板金機械の操作方法が習得できます。
- ② 企業実習では・・・
 - ・企業で行われている金属加工関連の仕事を体験できます。この体験を通じ、工事現場での仕事への対応力（仕事の段取りから実施まで）を習得できます。
 - また、実習先から採用されることもあります。

【企業実習に行くメリットは？】

訓練生の方は、溶接経験が全くない方がほとんどで、もちろん溶接の現場がどういうものかを知らないで入ってくる方も多いです。3Kと呼ばれることもある職場にいきなり飛び込むのはとても勇気が要り『興味はあるけれども、まずはどんな職場なのか見てみたい…』そんな気持ちを抱くのが普通ではないでしょうか？

企業実習は1ヵ月間、相手企業で働く事ができます。その間に『溶接の現場ってどんなだろう？』『どんな企業なんだろう？』と言った疑問を解決できます。もちろん事前に4ヶ月間訓練を行い、溶接などの金属加工に関する基本的な知識・技術、必要な関連資格を取得してから行くこととなりますので、これらを活用して作業ができます。

【どの分野に就職できるの？】

- ① 製缶工 … 図面を読む、組立て、溶接、仕上げなどトータルにこなす。（主として厚板加工）
- ② 板金工 … 薄板を切断、曲げ、溶接、仕上げなどトータルにこなす。（主として薄板加工）
- ③ 非破壊検査技術者 … 非破壊検査によって溶接後などの検査を行う。

【訓練によって取れる資格、および任意の資格は？】

【訓練で取得可能な資格】

- ・ガス溶接技能講習修了証（広島労働局登録教習機関第23号）
- ・アーク溶接等の業務に係る特別教育修了証
- ・動力プレスの金等の取付け、取外、調整特別教育
- ・自由研削砥石の取替え業務に係る特別教育修了証
- ・クレーン運転特別教育

【任意取得可能な資格】

- ・JIS溶接技能者評価試験—実務経験が必要（ただし、訓練で実務経験取得可）
- ・各種非破壊試験技術者資格
- ・アルミニウム溶接技能者評価試験—実務経験が必要（ただし、訓練で実務経験取得可）



【修了生の声】（当センターHP【町角の機構（利用者の声）】参照）

- 『溶接』は全くの素人だったが、勉強して面白さや難しさが分かり、非常に良かった。企業実習先での作業については、訓練で溶接を学んだことにより実際の現場の作業にも早く慣れることができ、非常に役立った。
- 溶接の経験はありませんでしたが、当科に入って企業実習により、その企業に就職することが出来ました。入る前に“会社の雰囲気”や“仕事内容”などを知ることができたので、納得して就職する事ができました。溶接作業などに必要な資格も取ることができたので、現在の職場でも役立っています。企業実習で現場を体験できたことは大変有意義でした。

「金属加工（溶接・板金）に興味がある」
という方は、
ぜひ！ 事前の施設見学を！